

製品名: OATP-C ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15083**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	76kDa

抗原情報

遺伝子名	SLCO1B1 SLCO1B1; LST1; OATP1B1; OATP2; OATPC; SLC21A6; Solute carrier organic anion transporter
別名	family member 1B1; Liver-specific organic anion transporter 1; LST-1; OATP-C; Sodium-independent organic anion-transporting polypeptide 2; OATP-2; Solut
遺伝子 ID	10599.0
SwissProt ID	Q9Y6L6
免疫原	抗血清はヒト SLCO1B1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

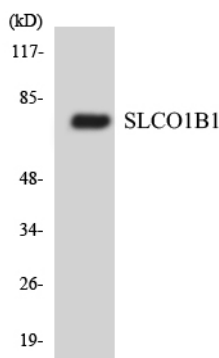
背景

この遺伝子は、肝臓特異的な有機アニオントランスポーターファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は膜貫通型受容体であり、ビリルビン、17- β -グルクロン酸エストラジオール、ロイコトリエン C4 など、多くの内因性化合物のナトリウム非依存性取り込みを媒介します。このタンパク質は、スタチン、プロモスルホフタレイン、リファンピシンなどの薬物化合物を血中から肝細胞へ除去する役割も担っています。このタンパク質をコードする遺伝子の多型は、トランスポーター機能の障害と関連しています。[RefSeq 提供、2009 年 3 月]機能: プラバスタチン、タウロコール酸、メトトレキサート、デヒドロエピアンドロステロン硫酸塩、17- β -グルクロン酸エストラジオール、エストロン硫酸塩、プロスタグランジン E2、トロンボキササン B2、ロイコトリエン C3、ロイコトリエン E4、チロキシン、トリヨードチロニンなどの有機陰イオンの Na(+)非依存性輸送を媒介する。肝臓からの胆汁酸および有機陰イオンのクリアランスにおいて重要な役割を果たす可能性がある。類似性: 有機陰イオントランスポーター (TC 2.A.60) ファミリーに属する。細胞内局在: 肝細胞の基底膜に検出される。組織特異性: 肝臓で高発現する。心臓、脳、胎盤、肺、骨格筋、腎臓、膵臓、脾臓、胸腺、前立腺、精巣、卵巣、小腸、結腸、白血球では検出されませんでした。

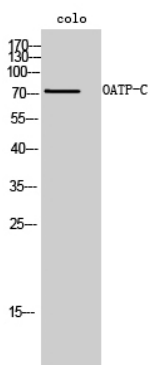
研究分野

脂質およびリポタンパク質の代謝; 代謝; 経路とプロセス; 代謝シグナル伝達経路; 脂質およびリポタンパク質の代謝; 脂質代謝; タグおよび細胞マーカー; 細胞型マーカー; その他の細胞型; がん; がんの代謝

画像データ



SLCO1B1 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



OATP-C ポリクローナル抗体を用いた結腸細胞のウェスタンブロット解析